



第 4 章 基本計画

1.重点プロジェクト（伊奈町デジタル田園都市国家構想総合戦略）

2.前期基本計画

1.

重点プロジェクト

(伊奈町デジタル田園都市国家構想総合戦略)

1

雇用の安定や産業の活性化を推進する
“はたらく”プロジェクト

2

まちの資源を生かし、関係人口の拡大を図る
“にぎわい”プロジェクト

3

すべての人が希望をかなえ、活躍できる地域をつくる
“あんしん”プロジェクト

4

すべての人が健康で元気な暮らしを実現する
“いきいき”プロジェクト

5

デジタルの力で便利なまちをつくる
“かいてき”プロジェクト

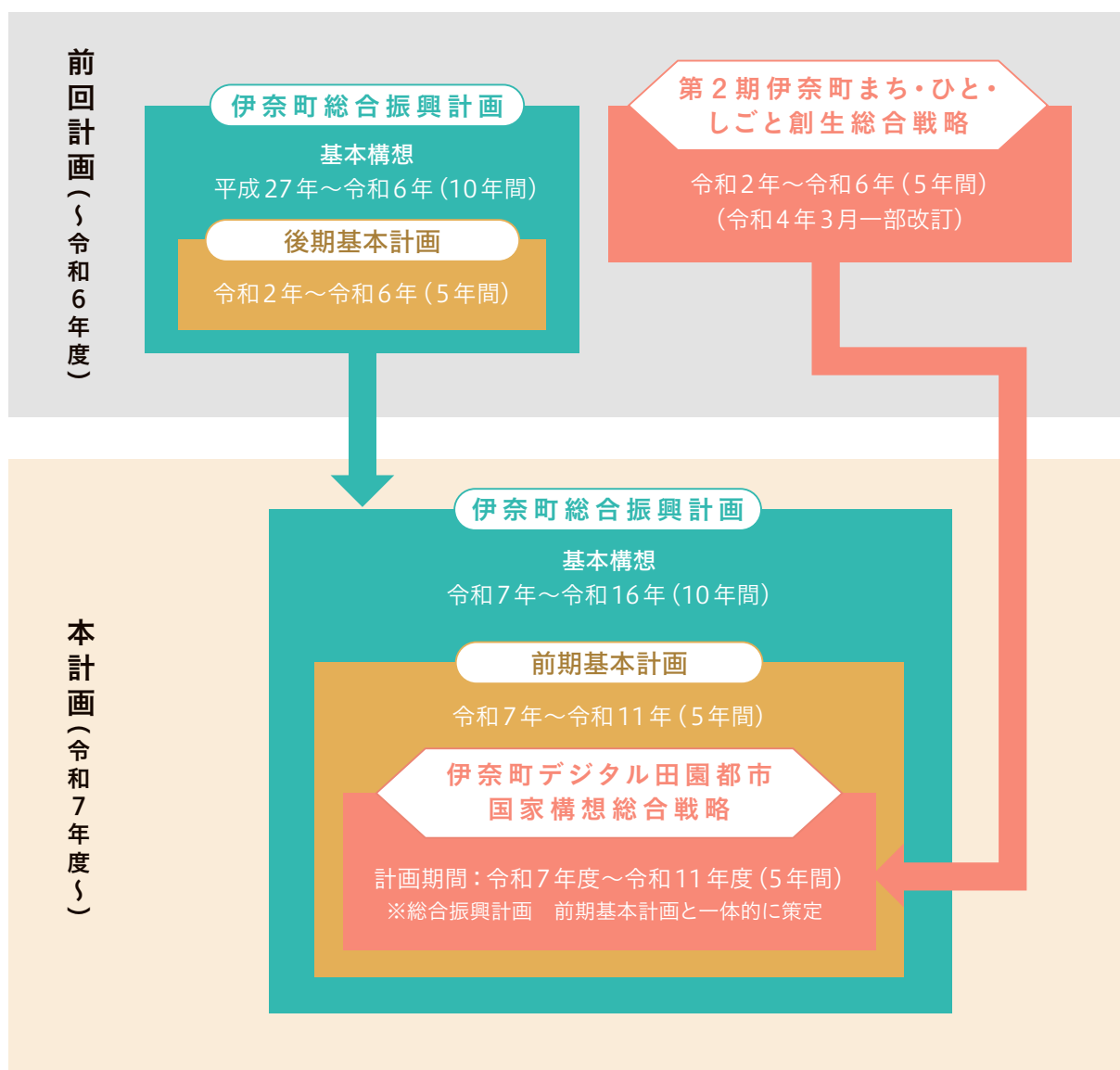
本町では、人口減少を抑制し、将来にわたって持続可能な地域を実現していくために、平成27年度より「伊奈町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進してきました。

こうしたなか、国では令和5年に「デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023改訂版）」が閣議決定され、地域の個性を生かしながら、デジタルの力によって地方創生の取組を加速化・深化させていくこと等が示されています。

そのため、本計画でも「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で取り組んできたこれまでの地方創生の取組に加え、デジタルの力を活用した地方創生を推進するため、「伊奈町デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定します。

なお、「伊奈町デジタル田園都市国家構想総合戦略」の目指す人口減少対策やデジタルの力を活用した地方創生の取組が、総合振興計画の目指す内容と共通する部分も多いことから、総合振興計画の基本計画内に「重点プロジェクト」として設定し、相互に連携しながら一体的に推進します。

▼ 総合振興計画と総合戦略の位置づけ



重点プロジェクト 1

雇用の安定や産業の活性化を推進する “はたらく”プロジェクト

伊奈町で安心して働き続けることができるよう、働く場の確保や伊奈町の特性を生かした産業の振興、多様な働き方の支援等を行います。

また、デジタル技術を活用した農業の生産性向上や、中小企業等におけるDX化等を推進し、地域産業の活性化を図ります。



目標指標 | 町内事業所数

令和
5年度

1,240 か所



令和
11年度

1,300 か所

重点プロジェクト 2

まちの資源を生かし、関係人口の拡大を図る “にぎわい”プロジェクト

伊奈町の関係人口を増やし、まちのにぎわいの創出や移住・定住につなげるため、まちの資源を生かした観光交流の拡大を図ります。

また、にぎわいの場づくり、“伊奈らしさ”を感じることでできる魅力をSNS等の多様な媒体を活用し、町内外に発信します。



目標指標 | 社会増減数

令和
5年度

942 人

令和元年から令和5年までの5年間の合計



令和
11年度

1,100 人

令和7年から令和11年までの5年間の合計

重点プロジェクト 3

すべての人が希望をかなえ、活躍できる地域をつくる “あんしん”プロジェクト

結婚・出産・子育ての希望を伊奈町でかなえることができるよう、切れ目のない支援や保育・教育環境の充実、保育所におけるICT化等を推進します。

また、性別や年齢、障害の有無、国籍等にかかわらず誰もが活躍できる共生のまちづくりを推進します。



目標指標 | (仮称)伊奈町こども家庭センターの相談件数

令和
5年度

279 件

伊奈町子育て世代包括支援センター及び
伊奈町子ども家庭総合支援拠点の相談件数の合計



令和
11年度

345 件

重点プロジェクト 4

すべての人が健康で元気な暮らしを実現する “いきいき”プロジェクト

いつまでも元気でいきいきとした生活を伊奈町で送ることができるよう、スポーツや生涯学習、介護予防や健康づくりの取組を推進するとともに、町民と行政、地域活動団体等多様な主体との協働のまちづくりによる地域社会の活性化を図ります。

また、医療や介護分野におけるDX化の推進により、質の高いサービスの提供や医療・介護従事者の負担軽減等を図ります。



目標指標 | 健康寿命（65歳に達した人が、健康で自立した生活を送ることのできる期間）

令和
5年度

男 18.75年
女 20.80年



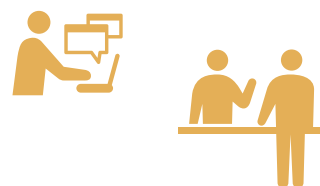
令和
11年度

男 18.91年
女 21.76年

重点プロジェクト 5

デジタルの力で便利なまちをつくる “かいてき”プロジェクト

デジタル技術の活用により、地域における社会課題を解決するため、マイナンバーカードの普及やデジタル・デバイド*対策、窓口・申請等における住民サービスの利便性向上、庁内におけるDX推進による事務の効率化、DX人材の育成・確保等を行います。



目標指標 | コンビニ交付サービス利用件数（住民票、印鑑登録証明書）

令和
5年度

12,661件



令和
11年度

15,000件

雇用の安定や産業の活性化を推進する “はたらく”プロジェクト

施策① 地域産業の振興と担い手の確保

- 関係機関と連携し、中小企業等における経営相談の充実や異業種交流の機会の創出、デジタル化の導入による経営革新を支援し、町内の既存産業の振興を図ります。
- 町内産業の担い手や後継者不足の解消に取り組むとともに、地域経済活性化を図るため、起業支援等の取組とあわせ、企業誘致を推進し、新たな雇用の創出を図ります。
- 家庭や学校給食、飲食店等における地産地消を推進し、地域経済の活性化を図ります。
- 農業の付加価値の向上や、農業者自身による新しいビジネスの創出支援など、6次産業化を推進するほか、AIやIoT等の先端技術を活用したスマート農業の普及を促進します。
- 農地を効率的に集積し、安定的な経営が確立されるよう、農地の有効利用を図ります。

主な取組

町内企業の活性化に向けた育成・支援
起業支援の充実
企業誘致の推進
農業の成長産業化と地産地消の推進
6次産業化による付加価値の創出

農村環境の整備と新規就農者への支援
農業体験や援農ボランティア*活動の推進
スマート農業の推進
農地の有効利用の推進

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
商工会会員数	845 事業所	855 事業所
地域農業の担い手の数	34 人	40 人

施策② 働きやすい職場環境の推進

- 家庭と仕事の両立ができる職場環境となるよう、ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発を行います。
- 子育て世帯が出産・育児、介護等をしながらでも、希望に沿って働き続けられるよう、在宅勤務やリモートワーク等の多様な働き方を推進します。
- 若年層や高齢者、女性、障がい者、外国人等、多様な就労者の働き方やライフステージに応じた就労を、関係機関や事業所等と連携し、サポートします。
- 社会体験活動や中学生社会体験チャレンジ等において、職業観を養うとともに、主体的な進路選択を行えるよう、児童・生徒のキャリア教育を推進します。

主な取組

働きやすい環境づくりの普及・啓発

障がい者の社会参加の推進と雇用機会の拡大

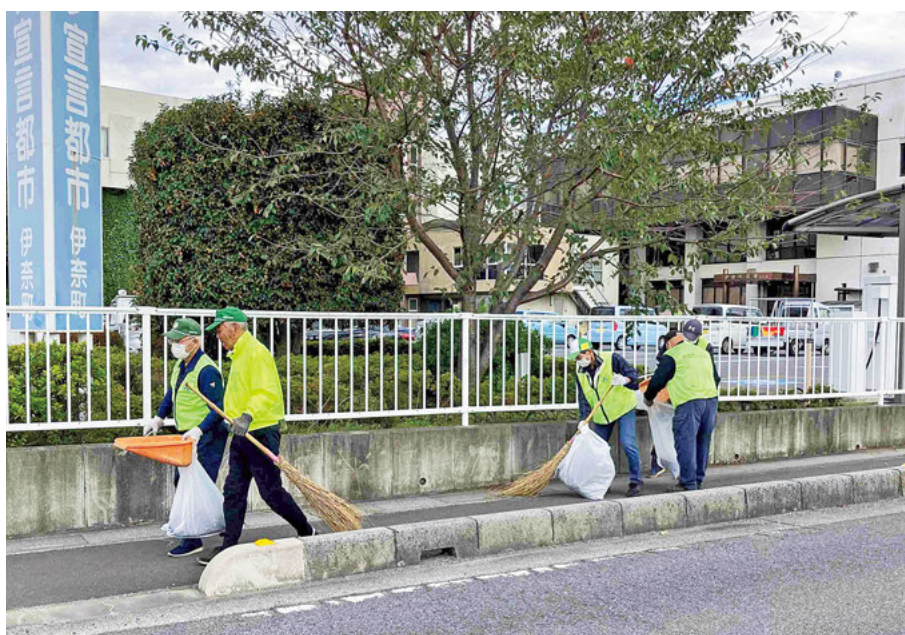
多様な働き方の推進

キャリア教育の充実

高齢者の活躍の場の創出と支援

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
次世代育成支援対策推進法や女性活躍推進法に基づく認定を受けた企業数	29 事業所	35 事業所
シルバー人材センター登録者数	336 人	350 人
障がい者の就労支援サービス利用者数	131 人	207 人



まちの資源を生かし、関係人口の拡大を図る “にぎわい”プロジェクト

施策① 移住・定住につながるシティプロモーションの推進

- 交流人口・関係人口の創出・拡大に向けて、「行ってみたい」「住んでみたい」と興味や関心を持ってもらうため、戦略的・継続的なシティプロモーションやSNS等の積極的な活用を行い、移住・定住につなげます。
- 豊かな緑の保全・活用を推進するとともに、魅力ある市街地との調和を図り、まちの魅力やブランドイメージの向上につなげ、「伊奈ブランド」の確立に取り組みます。

主な取組

戦略的・継続的なシティプロモーション

フィルムコミッション事業*の推進

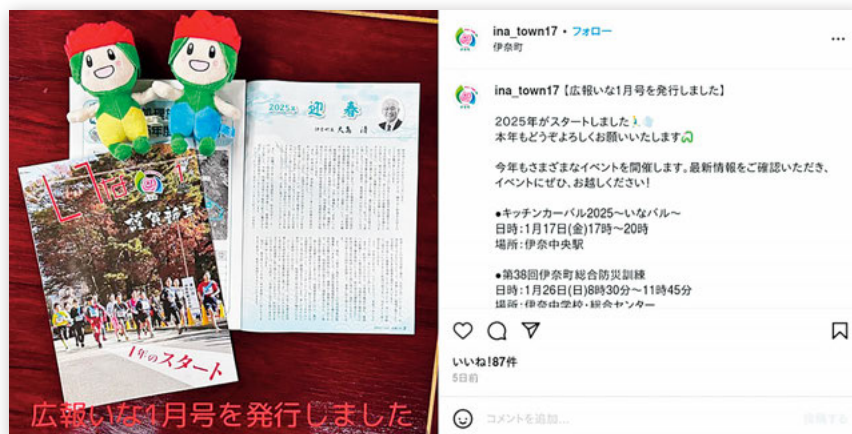
SNS等の多様な媒体を活用した情報発信

地域資源を生かした「伊奈ブランド」の確立

観光情報の効果的な発信

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
町公式SNS(LINE、Facebook、Instagram、YouTube)アカウント登録者数	9,347 人	12,000 人
町公式Instagramの投稿数	112 回	180 回
ふるさと応援寄附金受入額	22,494 千円	28,000 千円



伊奈町公式Instagram

施策② まちの魅力を生かしたにぎわいづくり

- 交流人口の増加を図るため、町内の地域資源を生かし、来訪者と地域の人が共に参加し、交流できるような体験交流型観光や滞在型観光等の創出など、地域資源の磨き上げを行います。
- バラを活用したブランディングや、町制施行記念公園バラ園の改修を進めます。
- まちにゆかりのある伊奈備前守忠次の功績を広く発信するとともに、伊奈氏屋敷跡を未来に継承するため、観光資源としての磨き上げを行います。
- 公共施設における公衆Wi-Fiの整備や、多言語に対応した観光案内など、訪れる方の利便性向上に取り組みます。

主な取組

体験交流型観光や滞在型観光等の開発・磨き上げ

町制施行記念公園バラ園の改修

緑地の保全・活用とグリーンインフラ*の推進

伊奈氏屋敷跡の保存・活用

バラを活用したブランディングの推進

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
イベント来場者数	152,700 人	180,000 人



すべての人が希望をかなえ、活躍できる地域をつくる “あんしん”プロジェクト

施策① 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり

- 企業の協力のもと育児休業や短時間勤務など、両立支援制度の利用を推進し、男性の育児参加等を促進します。
- 安心して妊娠・出産できるよう、相談体制の充実や保健サービスの充実を図ります。
- 児童手当の支給や医療費の助成等を行うほか、包括的相談支援を一体的に実施します。
- 多様な保育ニーズに対応したきめ細かな保育サービスの提供や、保育現場へのICTシステムの活用を推進します。
- 小児救急医療提供体制の充実を図ります。
- 結婚を希望する若者を対象に、ポータルサイト等を活用した、結婚に結びつく出会いの機会の提供に努めます。

主な取組

育児休業等の取得促進

利用しやすい保育サービスの提供と保育所の整備

ワーク・ライフ・バランスの充実

地域主体の子育て支援

安心して妊娠・出産できる相談支援体制の充実

小児救急医療提供体制の充実

経済的な負担の軽減とわかりやすい情報提供

出会いから交際・結婚までの支援

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
新生児乳児訪問の実施率	94.8 %	99.5 %
保育所等待機児童数	1 人	0 人



施策② 住み続けたいと思えるまちづくり

- 移住・定住を希望する方に向けて、SNS等を活用した効果的な情報発信を行います。
- 都市計画道路の整備や舗装修繕、側溝整備を推進するとともに、公共施設や交通施設、道路等のバリアフリー化等を推進し、誰もが住みやすいまちづくりを推進します。
- 空き家の利活用を推進します。
- 事故や犯罪のない地域づくりに向けた取組を行うとともに、災害時に備えた環境整備や災害時の備え、助け合いの意識の向上を図ります。
- ICTを活用し、災害時の情報発信や情報収集体制の強化を図ります。

主な取組

移住・定住情報の発信

災害に強い社会基盤づくり

利便性の高い道路環境の整備

防災意識の向上と地域防災体制の強化

空き家バンク*を活用した住宅供給体制の充実

交通安全環境の整備と普及・啓発

魅力的な市街地の形成・人にやさしいまちづくりの推進

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
空き家バンク案内通知件数	15 件	20 件
町内交通事故発生件数	879 件	835 件
町内での犯罪認知件数	271 件	257 件

施策③ 教育・学びの環境の充実

- 小中学校における英語教育やALT*(外国語指導助手)による英語指導等、グローバル化に対応した外国語教育を推進します。
- 児童・生徒一人ひとりの発達状況に応じた教育支援や、インクルーシブ教育*の充実を図ります。
- GIGAスクール構想*の推進や、児童・生徒へのICT教育を推進します。
- 教育環境の整備を推進し、安全性・快適性の向上を図ります。
- 学校と家庭、地域の連携を強化し、地域に開かれた教育を推進します。

主な取組

新しい時代に対応した外国語教育の推進

安心・安全な教育環境の整備・充実

インクルーシブ教育の推進

地域学校協働活動の推進

ICT教育の推進

地域における学習・体験活動の充実

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
中学校卒業段階で英検3級相当以上の生徒の割合	60.8 %	65 %

すべての人が健康で元気な暮らしを実現する “いきいき”プロジェクト

施策① 誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり

- 幼少期から健康的な生活習慣を身に付けるため、家庭・学校・地域における健康づくりを推進するとともに、スポーツを通じた健康増進や交流の促進に取り組みます。
- 障がい者が安心して暮らせるよう、障害福祉サービスの充実を図るとともに、自己実現に向けた社会参加を推進します。
- 安心して医療を受けられるよう、地域医療提供体制や救急医療提供体制の充実を図ります。
- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムを推進するとともに、デジタルを活用した在宅医療・介護連携の推進を図ります。

主な取組

健康意識の向上と体力づくりの支援

障害福祉サービスの充実

医療・介護・福祉の提供体制の拡充

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
特定健康診査受診率	46.6 %	60 %
コロナジ体操*サポーター数	60 人	120 人



施策② 地域活動の推進

- 町民活動や地域活動を支援するため、ボランティアセンターにおける各種ボランティア団体の支援を行います。
- 地域の支え合いの推進や、地域を支える人材の育成・確保に取り組めます。
- 地域活動において、活動を担う人材を育成するとともに、高齢者等が地域の担い手として活動できる環境の充実や、担い手の負担軽減、業務の効率化を図るためのデジタル化の推進を推奨します。

主な取組

地域コミュニティ活動の活性化

高齢者の社会参加と生きがいづくり

地縁団体などの地域活動の活性化支援

障がい者の就労や社会参加支援の充実

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
お年寄り世帯見守りたい* たい員数	934 人	1,050 人
伊奈町見守りオレンジネットワーク*協力社数	141 社	145 社
障がい者の移動支援サービス利用者数	45 人	75 人



デジタルの力で便利なまちをつくる “かいてき”プロジェクト

施策① デジタル基盤の整備

- マイナポータル*の活用による自治体の行政手続きのオンライン化や、RPA*、AI-OCR*等の導入・活用により、町民負担の軽減と自治体業務の効率化を図ります。
- 公共施設における公衆Wi-Fiの整備や、教育現場におけるICT環境の構築等を推進し、町内のデジタル基盤を整備します。

主な取組

行政サービスの効率化

デジタル技術を活用するための環境整備

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
電子申請・届出サービスにおける 住民利用業務件数	延べ 32 件	延べ 60 件
AI・RPAを活用した業務件数	9 件	20 件

施策② 将来を支えるデジタル人材の育成

- 町ではDX推進本部会議を組織し、DX推進を全庁一体で進めており、DX推進担当者のリスクリング*や各部署担当者におけるデジタル人材の育成を進めることで、町内のDX推進をけん引する内部人材を確保します。また、必要に応じ外部の専門人材を活用し、効率的なDXの推進を目指します。
- 町内企業の活性化に向けて、ICTの導入支援やスマート農業の導入支援等を実施します。

主な取組

デジタル人材の確保・育成

町内企業のICT化への支援

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
DX推進研修受講者数	延べ 30 人	延べ 180 人

施策③ 誰もがデジタルの力を活用できるまちづくり

- 誰もがデジタル技術を活用し、その恩恵を受けることができるよう、デジタルリテラシー*の向上や、高齢者に向けたスマートフォン教室やパソコン教室を実施します。

主な取組

デジタル・デバйд対策の推進

重要業績評価指標(KPI)の一覧

指標名	現状(令和5年度)	計画値(令和11年度)
シニアスマホ教室参加者数	延べ 620 人	延べ 1,900 人



2.

前期基本計画

- 1 活気とにぎわいのあるまちづくり
- 2 子育て・学びが充実したまちづくり
- 3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
- 4 安心・安全・快適なまちづくり
- 5 町民と共に発展するまちづくり

前期基本計画の見方

前期基本計画は、基本構想で示した基本目標と施策の大綱に即して、5つの章に区分し、複数の節から構成しています。節ごとの前期基本計画の内容は次の6項目から成り立っています。

1 シティプロモーション・シビックプライドの醸成

伊奈町の未来のすがた⁺

1 まちの魅力が町内外に発信され、伊奈町のファンが増え、伊奈町に住みたいと思う人が増えています。

現状と課題

2

- 町の特産品を活用した特産品の開発や、様々なイベントを実施してきましたが、地域が一体となって町を活性化させるため、「伊奈ブランド」の確立に努め、関係人口・交流人口の増加につなげていくことが重要です。
- ホームページや広報紙、SNS等を通じ、観光情報や各種イベント情報等を発信してきましたが、より幅広い世代や外国人等にも情報が届くよう、新たな情報発信方法の検討が必要です。
- 町の魅力を発信するフィルムコミッション事業については、受け入れ体制の整備や、町内の団体・施設等との協力・連携を図り、更に発展させていく必要があります。

3 SDGsの取組

4

中学生・高校生・町民からのアイデア

伊奈町特有のものを
使った商品を増やす
施策①に反映

CM・映画などの撮影に
協力し知名度UP！
施策②に反映

5 施策

①「伊奈ブランド」の確立と町の魅力発信

- 新たな観光資源や特産品等を開発し、伊奈町の魅力を最大限に生かした「伊奈ブランド」を確立します。
- 町の三大まつり（くらまつり、バラまつり、伊奈まつり）や各種イベントを開催し、伊奈町への誘客と積極的なPRを推進します。
- 「伊奈ブランド」の魅力を町内外に向けて発信していくことで、あらゆる世代の地元への愛着心を高めるとともに、町のPRにつなげます。

②多様な手法による情報発信・PRの推進

- 関係人口・交流人口の増加に向けて、幅広い世代やインバウンドへ向けた戦略的・継続的なシティプロモーションを推進し、町の認知度向上を目指します。
- フィルムコミッション事業を推進し、町の魅力発信や知名度の向上を図ります。
- SNS等の活用による多様な情報発信に取り組むとともに、職員全員がプロモーターとしての意識を持ち、全庁的にシティプロモーションを推進します。

6 まちづくり目標値

指標名	重点	現状（令和5年度）	目標（令和11年度）
町公式SNS（LINE、Facebook、Instagram、YouTube）アカウント登録者数	◎	9,347人	12,000人
町公式Instagramの投稿数	◎	112回	180回
ふるさと応援寄附金受入額	◎	22,494千円	28,000千円

第4章 基本計画 基本目標1



1 伊奈町の未来のすがた

令和11年度までに実現を目指すまちの姿や住民の状態を記載しています。

2 現状と課題

本町のこれまでの成果や取組の状況と課題について記載しています。

3 SDGsの取組

総合振興計画に関係するSDGsの17個の目標を、施策ごとに記載しています。

4 中学生・高校生・町民からのアイデア

ワークショップからのご意見のうち、施策に関するアイデアや意見をまとめたものです。

5 施策

令和11年度までに取り組むべき施策を記載しています。

6 まちづくり目標値

目指す姿の実現に向けて住民と行政共通の目標となる目標値を設定しています。この目標値は、施策の達成度合いを測る尺度であり、原則として、基準値は令和5年度、目標値は前期基本計画の最終年度である令和11年度の数値を記載しています。

重点プロジェクト（伊奈町デジタル田園都市国家構想総合戦略）に関連する指標には重点欄に「◎」を記載しています。